

1)ハイチにおける被害状況(女性、妊産婦に関して)

- 妊産婦死亡率(出生 10 万対):670 ※中南米諸国の中で最も高い
- 妊娠可能年齢(15~44 歳)の女性:750,000 人
- 妊婦:63,000 人
 - 2 月末までに出産予定:7,000 人 (11%)
 - 合併症で命を落とす危険のある妊婦:9,450 人(15%)

その他に予測される危険

- 特に女性に対する、性的暴力や搾取が拡大
- 望まない妊娠が増加
- 現在 12 万人にのぼる HIV 感染者数が拡大



衛生キット(20ドル相当):抗菌石鹸・植物性石鹸・制汗剤・生理用ナプキン・下着・漂白剤・歯磨きセット、くし、トイレトペーパー・シャンプー・プラスチック製カップ・洗面器・ビニールシート・プラスチック製皿・スプーン・バケツ

2)国連人口基金の緊急支援活動(総額:455 万米ドル)

A) 保健クラスター(275 万米ドル)

- リプロダクティブ・ヘルス・キットの配布(避妊薬(具)・医療用器具・出産介助用器具・輸血セット など)
- 助産師・産科医・看護師を派遣し、リプロダクティブ・ヘルス関連のサービスを提供

B) プロテクションクラスター(180 万米ドル)

(UNFPA は、女性への暴力の予防・対策のサブ・リード機関)

- 女性、若者、高齢者を中心に心理社会的サポートを実施
- HIV 感染者、障害者、若者、高齢者が援助を平等に受けられるように支援
- 女性への暴力の予防と対策
- 衛生キットの調達・配布

3)ご寄付の受付

皆さまからのご寄付は、国連人口基金本部ホームページ(<https://www.unfpa.org>)で受け付けています。

4)援助物資のご支援

援助物資のご支援にご関心のある方は、予定されている援助物資と数を国連人口基金東京事務所(03-5467-4684、tokyo.office@unfpa.or.jp)にご連絡ください。

5)問い合わせ先

- ・サント・ドミンゴ: Trygve Olfarnes、olfarnes@unfpa.org、電話:+507-6400-6653、衛星電話:+881-631-692-731
- ・ニューヨーク: Jessica Malter、malter@unfpa.org、電話:+ 1-212-297-5190
- ・国連人口基金東京事務所: tokyo.office@unfpa.or.jp、電話:03-5467-4684、FAX:03-5467-8556

